2015.12 vol.36

tag（たっぐ）

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

気軽で楽しい買い物がだれかのために。

一つ一つ丁寧に作られたケーキや羊毛フェルトのマスコット。障がいのある方への支援につながります。

アフリカの雑貨や、さまざまな種類のチョコレート。発展途上国での学校建設や、商品を作った方の生活向上につながります。

「社会のために何かするのって、自分には難しそう」と思っている方もいるかもしれません。しかし、「買う」ことで支援につながる商品もたくさんあります。12月6日（日）に開催した「たがさぽのX'mas雑貨市」には、そんな雑貨やお菓子類が並びました。

「私もほしい!」「どこで買えるの?」と思った方も多いはず。そんな声にお応えし、取り扱い店舗などを「たがさぽPress」でご紹介しています。こちらもぜひご覧ください。

犬と猫のぬいぐるみ。盲導犬の育成や動物保護支援につながります。

～詳しくは、たがさぽのブログへ！～

- 「『買うことで支援につながる』雑貨・お菓子、ここで買えます！」 2015年12月13日（日）掲載
- 「たがさぽのX' mas雑貨市を開催しました。」 2015年12月11日（金）掲載

ヒントfrom"たがさぽPress"

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介

詳しくはブログへ http://blog.canpan.info/tagasapo/

余った食材を楽しく救う! サルベージ・パーティ

2015年11月5日（木）掲載

家で眠っていた食材を、おいしく楽しみながら救っていくサルベージ・パーティ。フードロス（食料廃棄）に関心を持ってもらうことを目指しています。

転ばぬ先の行事保険

2015年11月17日（火）掲載

団体の活動や行事の際、ケガなど万が一に備えて保険をかけていますか？掛け金や補償額、対象などを見比べて、団体に合った保険の選択を。

サンタが家にやってくる！

2015年11月26日（木）掲載

クリスマスイブに、子どもたちに「プレゼントと夢」を届けているNPO法人チャリティーサンタ。活動への想いや、そこから広がる支援についてもご紹介。

"たがさぽPress"とは？

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ！ ＊ケータイ、スマホからもご覧いただけます。

たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介

TAGAJO Future Labo

- 発表会 参加者募集 -

「地域のために何かをしたい！」「自分の特技を地域で活かしたい！」という想いを形にすべく、4回にわたって地域づくりの先輩に話を聞いたりワークショップを行ってきた「TAGAJO Future Labo」。受講生からの発表と、終了後には交流会を行います。地域づくりに関心のある方、地域で何か始めたいと考えている方、ぜひご参加ください。何かヒントが見つかるかもしれません。

日　時	2016年1月30日（土）午後2時～午後5時
会　場	多賀城市市民活動サポートセンター
参加費	無料
定　員	30名（要事前申込）
申　込	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問　合	022-368-7745（多賀城市市民活動サポートセンター）

「tag」2015年12月　発行：多賀城市市民活動サポートセンター（たがさぽ）

vol.36 tag。

みんなで考える多賀城のこと

松島湾から、
多賀城はどう見えるかな？

「湾」を通して 地域をつなぐ 人をつなぐ

松島湾とその沿岸地域（東松島、塩竈、多賀城など）の文化を、松島湾から見た視点でとらえなおす「つながる湾プロジェクト」。プロジェクトについて、事務局の谷津智里さんにお話をうかがいました。

「TANeFUNe」
「種は船プロジェクト」から生み出された、朝顔の種の形をした船（写真後方）。2013年8月の1ヵ月間、塩竈・浦戸諸島に滞在し、乗船体験やスケッチなどを通しての交流を行った。

はじまりは、一艘（いっそう）の船から

東日本大震災後、東京都のアートを通した復興支援事業の一環で、2012年に谷津さんたちは塩竈市浦戸諸島の復興状況を調査しました。そのつながりから「TANeFUNe（タネフネ）」が2013年に塩竈に来ることになり、受け入れに関する話し合いを塩竈の地域づくりに関わっている人たちで行いました。その時に出た「この地域を市町単位で見てしまいがちだが、松島湾から見ると一続きになっている。この視点から考えることで、これまでとは違ったものが見えるのではないか」という意見に他の参加者も共感し、「つながる湾プロジェクト」がはじまりました。

「そらあみ」
網を編むという古くからの水辺地域での営みを体験し、つなぎ合わせた漁網を空に向かって立ち上げることで普段見慣れた風景をもう一度見直すプロジェクト。2013年浦戸諸島、2014年松島で、そして2015年は多賀城で行い、多賀城政庁跡の南北大路に掲げられた。

市町の境界を越えて、「つながり」を感じる

2013年より、海をフィールドに活動しているアーティストに関わってもらっての「TANeFUNe」「そらあみ」や、松島湾沿岸部の歴史や文化を研究している方をゲストにお呼びしての「チームwan勉強会」などを行ってきました。これらのプログラムを通して、松島湾エリアに暮らす人々のルーツや、海の恵みや文化などを参加者のみなさんと一緒に見つけていっています。参加者からは「松島湾沿岸一帯で塩づくりが行われていたことを初めて知りました」「多賀城の国府と塩竈の港はつながりが深かったんですね」などの反響もあり、現在の市町の境界を越えた松島湾エリアでのつながりが見えてきています。

2015年には多賀城でもいくつかのプログラムを開催しました。「そらあみ」には延べ200人が参加し、掲げられた「そらあみ」を通して、普段と違う多賀城の風景を見てもらうことができました。「多賀城の人たちは海への意識は高くはないですが、実は深い関係があることを知ってもらいたい」と谷津さんは話してくれました。

「つながる湾プロジェクト」の目指すところ

例えば「そらあみ」では、これまでの3年間でそれぞれの開催地の人がつながり、松島湾について同じ目線を共有できました。さらに、来年は七ヶ浜、再来年は東松島で行い、最終的にはすべての地域の「そらあみ」を1つにつなげたいと考えています。このように、松島湾エリアで活動している人たちが同じプロジェクトに取り組むことで、このエリアを見る視点を共有できればと考えています。そして、その視点をもとに自分たちの地元を見直し、それぞれの活動にも活かしてほしいと思っています。

「海辺の記憶をたどる旅展」
これまでのプロジェクトを通して得た湾の財産を一堂に集めた企画展。展示だけでなく、湾の記憶を疑似体験できるすごろくやワークショップなどの体験型のプログラムも行った。

たがさぽPressでも取り上げました！
南北大路の風景をつかまえよう！～
「そらあみ 多賀城」2015年8月30日（日）掲載

つながる湾プロジェクトについて詳しくはこちらをご覧ください
http://tsunagaruwan.com/
つながる湾

What's tag。
「tag」には、多賀城（tagajo）の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ（価値）をつける、という意味が込められています。

「たがさぽ」ではツイッターもやってます。フォローお願いします！
@tagasapo

「たがさぽ」ホームページはこちら
http://www.tagasapo.org/

発行：多賀城市市民活動サポートセンター　〒985-0873　多賀城市中央2丁目25-3（多賀城市文化センター北隣、上水道部向い）
電話：022-368-7745　FAX：022-309-3706　編集：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター